

令和3年度
予算概要

スポーツ振興費（当初予算）抜粋

市民局

3款1項5目	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳			
				国・県	市債	その他	一般財源
スポーツ振興費	千円 4,945,942	千円 6,316,204	千円 ▲1,370,262	千円 599,805	千円 816,000	千円 515,843	千円 3,014,294

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、年齢や障害の有無などにかかわらず、市民の誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係諸団体や市民との連携・協働を進めながら、身近な場所で気軽にスポーツが行える環境づくりを推進します。

そのために、体育館やプール等スポーツ施設の管理運営、イベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施するとともに、インクルーシブスポーツの推進にも取り組みます。

また、ラグビーワールドカップ2019TM大会の成功の機を活かし、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、機運の醸成や本市での競技開催の調整・準備等を進めるとともに、大会を契機に、更なるスポーツ振興に取り組みます。

(1) スポーツ関係団体支援事業 454,876千円 (前年度446,085千円)

横浜市スポーツ協会等との連携・協働により市民スポーツの普及・振興を図るため、事業費等を補助し、地域レベルでの活動を支援します。

(2) 市民スポーツ振興事業 112,438千円 (前年度75,937千円)

市民が身近な場所で生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

また、子どもの体力向上に取り組むとともに、スポーツを通じた国際交流・親善を深めるほか、共生社会の実現を目指し、インクルーシブスポーツを推進します。

さらに、ラグビーワールドカップ2019TMの開催による機運の高まりを契機に、ラグビー選手等による小学校訪問やトップレベルの試合の観戦機会提供等に取り組むとともに、市民がラグビーに親しめる練習場等の整備・検討を進めます。

そのほか、市民が積極的・自発的にスポーツに関われる体制作りやその支援を行うため、横浜市スポーツボランティアセンターを支援します。

ア	スポーツ推進委員支援事業	6,459千円
イ	地域スポーツ支援事業	9,902千円
ウ	インクルーシブスポーツ推進事業	3,000千円
エ	ラグビーワールドカップレガシー事業	24,800千円
オ	スポーツ国際交流事業	6,195千円
カ	ジュニア競技力向上事業	2,899千円
キ	横浜市スポーツボランティアセンター運営事業	4,960千円
ク	スポーツ推進審議会費	3,603千円
ケ	学校施設への夜間照明設置事業	50,620千円

(3) スポーツイベント開催等事業 **182,232千円** (前年度187,467千円)

市民スポーツの普及・振興のため、市民参加型の大会やイベントを開催し、市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、市内のトップスポーツチームと連携した地域貢献活動等を通じたスポーツ振興を行います。

また、大規模スポーツイベントを誘致・開催支援することにより、市民が一流選手のプレーを身近で観戦できる機会を増やし、市民のスポーツに対する理解と関心を高め、横浜の魅力を発信するなど、スポーツ振興やシティセールスを図ります。

ア	市民参加型スポーツイベント等開催事業	11,369千円
イ	横浜マラソン開催事業	100,012千円
ウ	観戦型スポーツイベント等開催事業	66,646千円
エ	トップスポーツチーム連携事業	3,909千円
オ	JOCパートナー都市協定事業	296千円

(4) スポーツ施設等管理運営事業 **2,538,880千円** (前年度4,364,858千円)

体育館やプール等のスポーツ振興課所管施設の管理運営を行うとともに、各区所管スポーツセンターの修繕等を実施します。また、特定天井脱落対策事業対象施設の設計・工事を行うとともに、特定天井脱落対策工事に合わせスポーツセンター等の体育室に空調機を設置するための設計・工事を実施します。

さらに、横浜武道館（サブアリーナ）の維持管理・運営や現横浜文化体育館の解体工事を行うとともに、メインアリーナの実設計を進めます。

屋外プール再整備事業では、本牧市民プール再整備のPFI事業者との契約を締結し、再整備を進めます。

ア	スポーツ施設管理運営事業	1,578,648千円
(ア)	横浜国際プール管理運営費	410,194千円
(イ)	平沼記念体育館管理運営費	23,386千円
(ウ)	港南・保土ケ谷・金沢プール管理運営費	80,160千円
(エ)	旭・都筑プール管理運営費	67,234千円
(オ)	特定天井脱落対策事業費	412,336千円
(カ)	スポーツセンター等体育室空調設置事業費	496,840千円
(キ)	施設・設備維持修繕費等	88,498千円
イ	屋外プール再整備事業	18,500千円
ウ	横浜文化体育館再整備事業	900,531千円
エ	市民利用施設予約システム事業	41,201千円

(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催推進事業

1,657,516千円 (前年度1,241,857千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により大会の開催が1年延期となったことを踏まえ、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、感染症対策に万全の態勢で臨むとともに、大会の簡素化を図り、安全・安心な大会を実現します。また、都市ボランティアの運営や都市装飾・ライブサイト等による機運醸成、英国等の事前キャンプ受入れ、ホストタウンの取組を行います。

さらに、オリンピック・パラリンピアンと連携した学校訪問を実施し、より一層のスポーツ振興を図ります。

ア 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進事業	1,639,786千円
(ア) 本市開催競技の運営支援	167,555千円
(イ) 都市ボランティアの配置・運営等	181,375千円
(ウ) 機運醸成の取組	393,070千円
(エ) 事前キャンプ受入れ	82,700千円
(オ) ホストタウン関連の取組	54,221千円
(カ) 新型コロナウイルス感染症対策	703,038千円
(キ) その他事務費等	57,827千円
イ オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興事業	17,730千円
(ア) オリンピアン・パラリンピアン等と連携した事業	14,180千円
(イ) パラリンピック競技の普及・啓発事業	3,550千円